

# 慈善信託を利用した中国武漢への寄付

2020年3月11日、三井住友信託銀行（以下、「当社」）は、当社資本提携先である紫金信託有限責任公司（以下、「紫金信託」、中国/南京市）の協力のもと、三井住友トラスト・グループで取り組みを推進しているSDGs活動の一環として、新型コロナウイルス感染拡大阻止に尽力している中国武漢の医療機関向けに、当社上海支店が委託者となる慈善信託「紫金信託・厚德博愛中日友好抗擊疫病慈善信託」を設立しました。信託資金50万人民元は武漢市雷神山医院に寄付され、疫病阻止活動に用いられる予定です。

透明性の高い寄付を実現すべく信託スキームを利用した本信託は、中国国内初の外資企業が単独委託者となった慈善信託であるとともに、当社が紫金信託へ委託する初めての信託案件となり、同社との協業という点でも新たな取り組みとなりました。

本取り組みを通じて、以下SDGs目標・ターゲットの達成に貢献しています。

	3.3 重篤な伝染病を根絶し、その他の感染症に対処する		9.1 経済発展と福祉を支える持続可能で強靱なインフラを開発する
	11.5 災害による死者数、被害者数、直接的経済損失を減らす		17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



## 三井住友トラスト・グループのSDGs取り組み推進

当グループでは、持続的成長を目的としE(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)を重視する「ESG経営・金融機関No.1」を掲げた取り組みを推進しています。

